

ヒメハルゼミは福井県に産するか

大野正男



第1図 日本（琉球を除く）におけるヒメハルゼミの既知産地

ヒメハルゼミは新潟県の能生および茨城県の片庭を北限とし、それ以南の暖地に広く分布する熱帯系のセミであるが、集団で大合唱する性質がある上に、その生息地がシイなどの極相林的樹林に限られる傾向が強いため、古くから珍奇昆虫の1つにかぞえられてきた。新潟・茨城・千葉（以上は国指定）・愛知（県指定）・神奈川（町指定）などで、それぞれ天然記念物に指定されているのは、上に挙げたようなことがその理由の1つになっている。

現在までに知られた生息地は第1図に示すように、かなり広域にわたっているが、これで見れば明らかなように、日本海側の地方には既知産地が極めて少ない。すなわち、日本海側の既知産地としては次に挙げる9地点が知られるだけである。

1. 新潟県能生町の白山神社々叢
2. 石川県白山の岩間温泉
3. 兵庫県豊岡市気比の絹巻山
4. 兵庫県城崎町の四所神社
5. 鳥取県八頭郡用瀬町の洗足山
6. 同上佐治村の余戸
7. 鳥取県東伯郡三朝町の三徳山
8. 島根県松江市の枕木山
9. 山口県萩市の浜崎

ヒメハルゼミがこのような分布域をもつとするならば、能生以西の日本海側の各地には、もっと産地があって当然だと考えられる。

ところが、福井県からは、不確実ではあるが、山田保治氏によってヒメハルゼミらしきものの記録されたことがある。それは1936年(昭11)に発行された「福井県生物目録」に見られるもので、この中で氏は、丹生(立待)、坂井、大野、今立、遠敷の5ヶ所から「ヒメハルゼミ」ノ一 種 *Euterpnosia* sp. を記録している。

この「ヒメハルゼミ」ノ一 種は、他の類似種と混同しての誤認記録のようにも考えられるが、同じ目録の中で氏は、ヒメハルゼミと誤認するおそれあるヒグラシ、ツクツクホウソウ、ハルゼミなど、そのすべてを挙げているので、あながち誤りとはばかりはいえないような気がする(この点については、昆虫と自然、10巻1号の拙稿を参照されたい)。

新潟・兵庫・島根・山口などの産地は、いずれも海岸に近いところにあるので、福井県でヒメハルゼミを探すとなれば、やはり海岸地帯の常緑広葉樹林が第1目標となろう。特に神社などの残存林が最も有望だといえそうである。しかし、白山の岩間温泉や鳥取県の用瀬町、佐治村、三朝町などのように、内陸地方に産地の発見されている例もあるので、必ずしも海岸地方にばかり生息地があるとは限らない。

発生期は7月上旬から下旬にかけてが普通であるが、年によっては8月上旬でも生き残りの個体を見ることがある。しかし、生息地の探索のためには7月中～下旬の最盛期をねらうのが最も効果的であろう。

目的地についたらセミの声に注意する。ニイニイゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミなどのように、ばらばらに鳴くことは少なく、一定の時間をおいて、多数のセミが一斉に鳴きだすので、少なくとも30分以上その場に待機しなければ、その地にヒメハルゼミが生息しているか否か確かめることはできない。(合唱と合唱の間隔は、日中では10分とか20分、時には30分以上というように、かなり間があるが、夕方になるとこれがせばまり、ほとんど連続的に鳴くようになる。ただし、場所

によって異なるので、この点は念頭におく必要がある) ザーッという夕立に似た騒音が聞えてくればしめたものである。

捕獲は非常に難しいが、長い竹ざおの先にトリモチをつけたもの、あるいはクモの巣をまきつけた針金の輪をとりつけた竹ざおなどを使えば、比較的容易に捕えることができる。夕方になるとセミが次第に樹の下方に下りてくるので、その頃をねらえば案外捕えやすいかもしれない。また矮林にコロニーができたときには、昼間でも樹の根際にとまっているので、このような生息地では捕獲はかんたんである。どうしてもセミがとれないときには脱け殻を探せばよい。林床の低木または草本類の葉裏によくみられ、また、樹幹や枝や、石の柱などについていることも少なくない。

幸いに新発生地がみつかったら、その証拠としてセミまたは脱け殻を採集し、その発生地の植生について調べ、さらに発生地の林のどの辺りに脱け殻が多いか、どんな種類の樹にとまって鳴いているか、などについて調査しておきたい。

新潟以西でヒメハルゼミの発生地が確認されていないのは、富山県・福井県・京都府の1府2県だけであるが、筆者は、福井県には必ずヒメハルゼミの生息地があると信じている。しかもその生息地は1ヶ所や2ヶ所ではなく、少なくとも数ヶ所にわたるものと考えている。今年の発生期には、地元の同好会員の誰かの手で、そうした発生地が、1つでも発見されることを期待したい。

末筆ながら石川県のヒメハルゼミ発生地をご教示下された川瀬英爾氏に厚くお礼申し上げます。

(東洋大学教授)